

仙台高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	卒業研究
科目基礎情報						
科目番号	0276		科目区分		専門 / 必修	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数		学修単位: 7	
開設学科	知能エレクトロニクス工学科		対象学年		5	
開設期	通年		週時間数		前期:7 後期:7	
教科書/教材	必要に応じて各指導教員が指示する。					
担当教員	大泉 哲哉,大場 譲,川崎 浩司,佐久間 実緒,末永 貴俊,關 成之,園田 潤,那須 潜思,馬場 一隆,藤木 なほみ,與那嶺 尚弘,柏葉 安宏,林 忠之					
到達目標						
(1) 自主的・自律的に行動し、学習・研究を計画的に進められる。 (2) 研究テーマに関する基本的な知識や従来研究成果、関連研究の動向等を説明できる。 (3) 研究テーマにおける課題を明確にし、それに対して自分なりの解決案を提示できる。 (4) 研究テーマの課題への解決案を実行できる。 (5) 簡潔で視覚的表現も考慮した資料を作成し、プレゼンテーションを行うことができる。 (6) 研究の内容を卒業論文としてまとめることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(1)	研究テーマについて既存研究や周辺技術を調べることができ、研究課題を自分で解決し、それを定量的に評価できる。		研究テーマについて既存研究や周辺技術を調べることができ、研究課題を教員の補助で解決し、それを定量的に評価できる。		研究テーマについて既存研究や周辺技術を調べることができ、問題を自分で解決し、それを定量的に評価できない。	
評価項目(2)						
評価項目(3)						
評価項目(4)						
評価項目(5)						
評価項目(6)						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	本学科教員（他学科も可能）の指導の下で、実験、解析、開発、製作あるいは設計等に関する専門的な研究テーマを選択し、解決すべき問題点を整理した上で、文献調査、計画、実験等、評価を巡回的に遂行する。研究の進行状況と成果について、所属研究室での継続的な討論の他、学内での卒研中間発表会および卒研発表会で報告を行い、最終的に卒業論文としてまとめる。					
授業の進め方・方法	研究の背景・目的を明確にし、関連研究を調査しながら、自主性・計画性を持って、真摯な態度で研究内容を遂行し、一定の成果を挙げることを目標とする。					
注意点	4年後期の情報ネットワーク実験Ⅰおよび5年前期の情報ネットワーク実験Ⅱでの学習を基礎に、自主性、自律性、計画性を発揮して、各人の卒業研究テーマにおける課題の解決に取り組んで欲しい。指導教員や研究室のメンバーとのコミュニケーションを絶やさぬようにし、自らに課せられた責任を果たすよう努力してもらいたい。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	卒業研究テーマに関して【授業概要とねらい】に掲げた事項に取り組み、その学習成果を卒業論文としてまとめる。		具体的な達成目標は各テーマで定められる。	
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週	卒業研究中間発表会		これまでの取り組み内容をポスターにまとめて発表する。	
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				

		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週	卒業研究発表会	卒業研究の内容を10分のプレゼンテーションにまとめる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	研究室における学習状況	プレゼンテーション技術	卒業研究論文	合計
総合評価割合	30	30	40	100
基礎的能力	10	5	10	25
専門的能力	10	10	20	40
分野横断的能力	10	15	10	35